

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No.22

2022 年
1 月 27 日

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-6-9

DIK 麹町ビル 704 号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

岸田政権と厳しく対峙し 命と暮らしを守る取り組みを強化しよう

新型コロナ感染の急拡大が止まりません。各地で過去最高の感染者数を更新しています。他方でワクチン接種は進まず、命、健康、暮らし、職場そして社会や経済に大きな影響を与え続けています。通常国会では岸田政権と厳しく対峙し、新型コロナ対策を始め命と暮らしを守る取り組みを強めましょう。

岸田首相の逃げの姿勢は許さない



19日衆院本会議で代表質問に立った泉代表は、新型コロナへの対応について、オミクロン株

を前提に対応策を改善すべきことを指摘。さらに沖縄など日米軍基地からの感染拡大は国民の命に直結するとして、日本の検疫法の及ばない地位協定の見直しが必要だと厳しく迫りました。また「新しい資本主義」については、所得の再配分政策がないことを追及しました。

岸田首相が施政方針演説では意図的に触れなかった課題は多く、森友学園の裁判を突然終結させたことは責任と真相を隠ぺいするものだとの批判、核兵器禁止条約締結国会議へはオブザーバー参加も求めました。

とりわけ前政権以来の「負の遺産」と言われる課題に対しては口をつぐむか消極的姿勢に終始しました。審議の場は予算委員会に移りましたが、参院選に向け「命と暮らし」にかかわる対決点を明確にして臨むことが求められています。

第208回通常国会の焦点と課題

第208回通常国会が始まりました。感染症法改正案、入管難民法改正案、マイナンバー拡大法案など対決しそうな法案は見送りとなり、政府提出法案は58本と、過去10年で3番目に少ない状況です。

予算委員会では、岸田政権の新型コロナ対応の問題点、コロナ禍で痛んだ国民生活や事業者への支援、「防衛力強化加速パッケージ」として21年度補正と一体で6・2兆円となった防衛予算の内容などをただす必要があります。日豪円滑化協定、「思いやり予算」の新協定も要注意の課題です。

「こども庁」は、縦割り行政が残る上に、自民党内保守派の要求で「こども家庭庁」とされました。対中国を念頭とした経済安全保障推進法案も焦点です。参院選後には、機微情報へのアクセスを限定するため、民間人にも特定秘密保護法並みの規制を適用する「セキュリティー・クリアランス」法案が控えています。本土復帰50年の節目に沖縄振興法も改正されます。

森友・加計問題や桜を見る会の疑惑、日本学術会議会員の任命拒否など、「負の遺産」を幕引きにはできません。建設工事受注動態統計調査の改ざん問題、「文書通信交通滞在費」の見直し等も焦点となります。泉健太代表のもと新体制となった立憲民主党にとっても、正念場を迎えます。問題点の徹底追及と積極的な政策提案で、参院選勝利につなげていきましょう。

■社民フォーラム自治体議員団会議 地方財政計画学習会の開催

日時：2月13日（日）14時～16時 会場：東京・中野サンプラザ8階研修室3 ズームと併用

内容：「岸田政権と地方財政」 講師：飛田博史さん（地方自治総合研究所副所長）

■「2022年度予算・地方財政計画」資料集成（CD）を作成します

発刊は2月中旬、1枚2000円で販売します。自治体議員の皆さん、労働組合活動家の皆さんにはとても役立つ資料です。ぜひお買い求めください。

※いずれも申し込みは社会民主主義フォーラム メール:forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp まで

「提案型は自民党の思うつぼ」

フォーラム東京講演会で長妻昭衆議院議員



社民フォーラム東京主催の「2022新春講演会」が1月22日（土）に開催され、長妻昭衆議院議員（立憲東京都連会長）より参議院選挙に向けた課題について講演を受けました。

「自民党が嫌がっていることは第一に野党の追及。『批判ばかりの立憲ではなく提案型に』という流れは自民党の思うつぼだ。次に野党の一本化。今これが難航する状況が生まれているが、一騎打ちの構図は最低限必要だ。そして『民主党色を消すことが伸びる道』と言われるが果たしてこれで伸びるのか、しっかり国民の気持ちをつかむことが必要だ。」

「政権につかなくても、すぐやれることをやっていくこと。企業団体献金の廃止や脱原発ゼロなどもっと迫力をもって打ち出すこと。憲法の範囲内での安全保障政策の充実、我々の目指す20年後の社会像を明らかにすること、いまだに残業代が出ない官僚や公務員の増員など、課題はいくつもある。」

「そしてリベラル層を固めながらウイングを広げ、維新との差別化・区別化を図ること、議員の日常活動をさらに強化すること、野党共闘の再構築も課題だ。マインドではなく有権者のハートをつかみ、動かし、こだわりを含め私たちの不退転の決意が国民に伝わるように頑張ることが大切だ。」

その後、維新の動向などについて質疑応答を行い、講演会は終了しました。

年明けから参院選スタート

社民フォーラム千葉

参議院千葉選挙区では小西洋之（こにし・ひろゆき）参議院議員（現職2期）が改選を迎えます。年が明け立憲県連から方針が提起され、地域での行動が始まりました。【写真は成田駅で小西洋之参議院議員と油田清市議】

我孫子市での宣伝活動は1月14日から行われ、ある駅では朝6時30分から8時までの行動に、フォーラムの議員、会員も参加してきました。参加党员からは「リーフの受取りも良く、駅前ロータリーに停車中の路線バスのドライバー（組合員）からも、手を振ってのエールを頂きました」と報告されています。

「手が悴む寒さだが、小西洋之参議院議員、奥野総一郎衆議院議員らと改札前で宣伝しました。雨も降っていたのでビラの受け取りは良くなかったが、『ご苦労様』と声をかけ取りに来る人も数人いました」（四街道市）。

「朝6時から8時まで駅頭宣伝。」

小西洋之参議院議員を先頭に、樋高剛12区総支部長や県議・市議、サポーターなど15名

が集まった。若い人たちも寒さの中でも足を止め、チラシを受け取ってくれた。わざわざ車を止め『政治への無関心を何とかしてほしい』と訴える人もおり、今後も積極的に参加しようと思う」（木更津）。

さらに推薦労組と一緒に行動することが課題です。そのため「戦争させない1000人委員会」は3月26日に憲法講演会（参議院選挙への集会）を企画しています。また例年取り組んでいる憲法記念日の新聞「意見広告」運動は、コロナの影響で運動期間を長くしてほしいとの声もあり1月11日にスタートしています。



立憲民主党自治体議員ネットワークの取り組みへの参加を

1月22日、2022年立憲民主党自治体議員ネットワークの総会がZOOMで開催されました。党所属自治体議員1270人中、約150人が参加し、その内社民フォーラム会員は初めての参加で10人程度だったと思います。総会では、「夏季全国研修会」を開催することも決定され、議員間での交流・情報交換、政策提言活動等の必要性が確認されました。しかし、「社民党自治体議員団全国会議」の時のような「会費」もなく「予算」もありませんし、まだまだゆるいつながりのように思います。

昨年8月に開催された研修会では社民フォーラム会員が20人以上参加し、主催者からも「今回は社民党からこられた議員が多く参加して議論が活発になった」と評価もされました。これは、私たちが意識的参加をしていけば、影響力を発揮できる状況でもあるということです。自治体議員は、今後取り組まれる「党自治体議員ネットワーク」の取り組みには、意識的に参加していきましょう。【高田良徳 香川県議 社民フォーラム代表】